

岐阜県代協ニユ

平成23年3月

vol.192



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

岡部繁樹氏が日本代協会長に

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長

おおえ かねお
大江 金男

3月11日に開催された日本代協臨時総会で、荻野明廣日本代協会長の今期退任に伴い、後任に岡部繁樹副会長が選任されました。

東京圏以外で岐阜県から日本代協の会長が選出されるのは異例のことで、岡部氏ご本人だけでなく、岐阜県代協が会長選出代協としての活動状況に今まで以上の注目が集まることとなります。

岐阜県代協の活動が全国の範となることによって、岡部氏が日本代協の会長としての活躍を保証するといっても過言ではありません。

その意味では重大な責任を負うことになるでしょう。

岐阜県代協の皆さん、代協活動への積極的な参加をお願いします。



日本代協臨時総会の後、全国会長会議開催中、東日本大地震が発生しました。

最初細かい縦揺れが数十秒続いた後、大きな横揺れが起こり、会場の損保会館の大会議室もぎしぎしという音とともに、天井と壁の継ぎ目の塗装がバラバラとはがれてきました。

一旦会議を中断し、外階段のある2階でしたので外へ出てみると、ビルというビルが大きく横に揺れているのが見えました。隣は建設中のビルでクレーンが大きく振られています。揺れがおさまったので会議が再開されて数分後、再び大きな揺れがあり、救急車の音があちこちで鳴り響いています。後で知ったのですが、九段会館の天井が落ちて死傷者が出たための救出に向かう音だったようです。

会議終了後、帰路につく交通は全てストップしてしまい、ホテルも全て満室かクローズになり、仕方なく岡部新会長、愛知の鈴木常任理事、高木会長、静岡の水野会長と御茶ノ水から有楽町にある日本代協事務局まで、帰宅難民となった人たちの間を歩きました。

日本代協事務局では電気・水道も大丈夫で暖房もあり、食料も確保し会議室の床で寝ることに……。しかし、度重なる余震で揺れ続けています。

11時過ぎに新幹線が一部動くという情報を得、東京駅へ歩いて行くと浜松行きのこだまだけが何時に出るかわからないが運行するという。

岡部新会長は事務局員を気遣い日本代協事務局に残り、東京を脱出すれば何とかなると、熱海のホテルに電話すると何とか一室確保してくれるというので、4人で夜中の0時半に発車したこだまに乗り込み、ホテルに2時に無事到着することができました。熱海も東京に行けない人たちがホテルは満室でした。

道家常任理事は関東・東北の会長さんたちと総会会場の損保会館の一室で一夜を過ごし、日本代協事務局で夜明けかした岡部会長、全員翌日には帰宅することができました。

今回の地震で自らや家族を亡くしたり、家・事務所を流失した被災地の多くの代理店の皆さんの皆さんたちに少しでも支援ができるよう日本代協、岐阜県代協では**義援金**の呼びかけをしています。代協会員の皆さん、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。復興段階に入れば人的・物的支援も考えたいと思います。

目次

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1 p・・・会長挨拶 / 目次 | 8 p・・・中さんの保険諸国漫遊記 (59) |
| 2 p・・・スケジュール / 事務局より | 9 p・・・中さんの保険諸国漫遊記 (59) |
| 3 p・・・日本代協ニュース | 10 p・・・～保険ジャーナリスト 中崎章夫 ～ |
| 4 p・・・支部活動報告 | 11 p・・・なるほど『ぎふ雑学』(24) ～松尾 一～ |
| 5 p・・・支部活動報告 / 委員会報告 / ゴルフ同好会 | 12 p・・・SHINWA グループ |
| 6 p・・・代理店紹介 | 13 p・・・損害事故復旧サービス～ホームステップ(株)伊ヶ～ |
| 7 p・・・会員投稿記事 | 14 p・・・交通事故による損害復旧工事～(有)岐垣創建～ |
| | 15 p・・・日本代協振興基金の取扱いについて |

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付		主催	行事・議題・内容など	開催場所
3	10	木 東濃支部	例会(11:30～)	みわや
	11	金 企画環境	委員会(11:00～)	サイゼリア 岐南店
	11	金 西濃支部	ボウリング大会、懇親会(18:30～)	大垣ボウリングセンター
	14	月 CSR	委員会(11:00～)	岐阜県代協事務局
	16	水 広報機関誌	委員会(13:00～)	岐阜県代協事務局
	23	水 東海ブロック	東海ブロック協議会(14:00～)	愛知県代協事務局
	29	火 県代協	三役会(11:00～)	岐阜県代協事務局
	29	火 県代協	年会費検討諮問委員会(14:00～)	岐阜県代協事務局
4	1	金 飛騨支部	平成23年度支部総会(18:00～)	ひだホテルプラザ
	6	水 岐阜支部	役員会(12:00～)	岐阜県図書館
	7	木 県代協	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター
	13	水 西濃支部	平成23年度支部総会(15:00～)	スイトピアセンター
	13	水 中濃支部	平成23年度支部総会(11:00～)	シティホテル美濃加茂
	14	木 東濃支部	平成23年度支部総会(11:00～)	みわや
	20	水 岐阜支部	平成23年度支部総会(14:00～)	長良川スポーツプラザ
5	11	水 県代協	平成23年度定時会員総会(13:30～)	長良川スポーツプラザ
6	8	水 広報機関誌	委員会(13:00～)	岐阜県代協事務局
	15	水 日本代協	平成23年度定時会員総会(10:00～)	損保会館
	22	水 東海ブロック	東海ブロック協議会(14:00～) 予定	愛知県代協事務局 予定

保険大学校第14期生

募集のご案内

第14期保険大学校の募集が4月1日から始まります。
同封いたしました『日本代協保険大学校』のご案内(募集要項)をご確認いただき、4月1日より日本代協ホームページから (<http://www.nihondaikyo.or.jp/>) お申込みください。

なお、今回の申込みは先着順となり、申込者多数の場合は申込をお受けできない場合もありますのでお早めにお申し込み下さい。

保険大学校を修了し、認定試験に合格して所定の資格審査を経ると、日本代協認定保険代理士となることができます。<更新制度あり>

なお、損保協会では、現在、保険募集に関連する幅広い知識修得のため「損害保険代理店専門試験」を実施しています。また、日本代協では、同様の趣旨で「保険大学校」・「認定保険代理士制度」を実施しています。

現在、両協会が合同で、損害保険業界共通の募集人資格認定制度として整理・統合されるよう検討がなされています。本制度には、まだまだ未確定な部分もありますので予めご了承をお願いします。

詳細については決定次第ご連絡申し上げます。

(教育委員会)

日本代協ニュース

3月臨時総会の付議事項等を審議 ～ 第7回理事会(2月17日)開催報告 ～

2月17日に本年度第7回理事会が開催され、下記の事項につき報告・審議されました。

・3月臨時総会 日程・運営・付議事項等の審議

「23年度(第48期)事業計画案」「正会員会費額案」「収支予算案」「役員の補充選任」を審議し承認されました。

・損保協会の募集人認定制度と保険大学校・認定保険代理士制度の統合について両制度の統合による「損害保険大学課程」制度の概要が報告され、了承されました。

・役員補充選任の件

荻野会長の会長・理事退任に伴う後任会長・理事の選任につき

「会長となる理事候補者に岡部繁樹氏」

「副会長となる理事候補者に泉健彦氏」

「荻野会長の後任理事候補に村上暢敏氏」が提案され、異議なく承認されました。

・代協正会員の増強(組織委員会)

全国一斉「代協正会員250店入会キャンペーン」の直近状況と出来上がりにつき報告されました。

委員長からは、本キャンペーン目標は2月末までの目標で、年間の目標正会員数達成があくまでも最終目標であることの確認が要請され、了承されました。

岡部繁樹氏



・日本代協保険大学校第14期の募集と運営について(教育委員会)

上記の「損害保険大学課程」制度が了承され、保険大学校第14期の経過措置が確定したことにより、「募集要領」「受講者目標数とセミナー開催地区」「カリキュラムと運営」が提案され、承認されました。

・平成23年度認定保険代理士更新研修について

(教育委員会)

第3期・第6期・第9期の更新研修につき、事務局から提案され、承認されました。

・平成23年度代理店賠償責任保険の改定について

(企画環境委員会)

本年度更改に際し、アリアンツ社から「保険期間の改定(10月1日から1年間)」「保険募集側の賠償額(含む保険会社責任)の一旦支払特約(1件100万まで)の新設」「保険証券の保険期間中支払限度額20億円の設定」の提案を受けた企画環境委員会の決定を経て、事務局より提案され、承認されました。

全国一斉「正会員250店入会キャンペーン」～ 全国42代協で212店入会の成果 ～

2月単月で実施されました「正会員250店入会キャンペーン」は、昨年キャンペーン実績214店を惜しくも2店下回る212店の入会(目標には38店)で終了しました。

【目標達成：26代協】

北海道・宮城・やまがた・福島・新潟・栃木・茨城・千葉・
岐阜・三重・富山・滋賀・京都・奈良・大阪・兵庫・和歌山・
島根・徳島・香川・高知・福岡・大分・佐賀・宮崎・熊本

【目標達成：4ブロック】

北海道・南東北・近畿・阪神

年度末12,000店の目標達成に向けての更なる取組を是非ともお願いいたします。

支部活動報告

【岐阜支部 3月役員会報告】

開催日時 : 平成23年 3月 8日(火) 12:00 ~ 開催場所 : 岐阜県図書館 レストラン杏
出席者数 : 8名 報告者名 : 岐阜支部長 岩田 篤宗

《議題》

支部総会は、4月20日(水)に決定。議案書、開催案内等の発送は3月20日過ぎ。

会員増強について 1名、確定。

メールアドレスの登録100%めざして、未登録者の確認。 年会費の件、意見交換。

次回役員会は 平成23年 4月 6日(水) 12:00 ~ 場所 岐阜県図書館 レストラン杏にて

【西濃支部 3月例会報告】

開催日時 : 平成23年3月2日(水) 12:00 ~ 13:30 開催場所 : 鶴見天近
参加者数 : 20名 報告者名 : 後藤 益充

《議題》

西濃支部総会について

4月13日(水) 15:00 ~ スイトピアセンター

総会終了後 介護保険についてのセミナー開催

新入会員のご紹介

株式会社 e-プランニング 栗田 英優 様

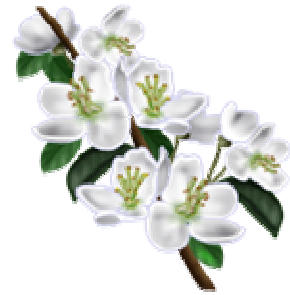
損保ジャパン新しい年齢条件についての話

会員増強について

その他他社の動向 各社の保険料改定、新聞記事について

西濃支部親睦会 3月11日(木) 18:30より大垣ボウリングセンターにてボウリング大会

次回の例会は4月13日(水) 場所 スイトピアセンター



【西濃支部 懇親会報告】

開催日時 : 平成23年3月11日(金) 18:30 ~ 開催場所 : 大垣ボウリングセンター
参加者数 : 24名 報告者名 : 畦地 正治

《内容》

近年恒例となりましたボウリング大会を老若男女24名の参加をいただき開催いたしました。

当日の午後2時46分頃に東日本において大地震がおきた中、幸いにも当地方には大きな被害もありませんでしたので被害を受けられた皆様には大変心苦しい状態での苦渋の開催ではありましたが、額に汗をし、体を動かしながら親睦をはかることができました。成績は、優勝 川瀬 方彦様(保険屋.Com)、準優勝 坂聰志様((株)SOGO)、第3位 北村 篤俊様((有)ユウ保険事務所)3名の平均年令50歳??と昨年より若干返った感じの上位入賞者となりました。また、別会場にて懇親会を行い、西濃支部総会への協力要請をし、その後上位入賞者の表彰を行い歓談しました。

【中濃支部 3月例会報告】

開催日時 : 平成23年 3月 9日(水) 10:30 ~ 開催場所 : 太田宿 美濃加茂市太田町
参加者数 : 14名 報告者名 : 中濃支部長 吉田 春次

《内容》

22年度事業報告。決算の件

23年度事業計画の件

各委員報告

保険大学校第14期生募集について

その他情報交換

各社自動車保険値上げの件。自動車、火災保険疑問点。活発な意見交換で、14名と多数の方の参加でした。

4月13日 中濃支部定時総会 午前11時より シティホテル美濃加茂 多数の参加をお願いします。

尚、5月11日の例会は開催なしとさせていただきます。

5月11日 岐阜県代協定時会員総会に参加のほどよろしくお願ひいたします。

【東濃支部 3月例会報告】

日 時 : 平成23年 3月10日(木) 11:30~13:00
参加者数 : 8名

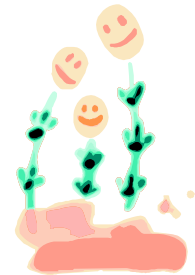
開催場所 : 釜戸 みわ屋
報告者 : 伊藤 智之

《内容》

支部長より理事会の報告
代理店賠償について

会費について
支部規約について

次回案内 4月14日(木) 総会 11:00~ 場所:みわ屋にて



【飛騨支部役員会報告】

開催日時 : 平成23年 3月 8日(火) 13:00~

開催場所 : ひだホテル喫茶ルーム 報告者名 : 成原 大介

《議題》

第25回飛騨支部定時総会について 定時総会は、4月1日(金)18:00~ のち、親睦会が行われます。

【ゴルフ同好会】

”春”岐阜県代協ゴルフ同好会中止のご案内

このたびの東日本大震災の被災地の皆様、そして関係者の皆様に心からお見舞い申し上げます。
被害は甚大で、大勢の被災者が出ている中での開催に配慮し、春の岐阜県代協ゴルフコンペは中止とさせていただきます。なにとぞご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、今後の活動につきましては現在未定となっておりますので、状況が落ち着きましたらご連絡をさせていただきます。
森 信彦

委員会報告

【CSR委員会】

<東日本大震災義援金のご協力のお願い>

東日本大震災により被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。また一日も早い復興をお祈りします。

先にFAX、メール等でご案内しましたように岐阜県代協としましても義援金を募り、東海ブロック、日本代協を通じて被災地へ届けたいと思っております。ただ、先の案内にありましたように一般被災者ではなく、被災代理店を対象としておりますことにご理解をいただきたいと思っております。代理店も被災者です。

日ごと入ってくる被災者の安否情報に心が痛みます。しかし、我々代理店は本来の業務ができてこそ被災者のお役に立つと思っております。早急な保険金支払い、契約者全員が被災され保険金請求者がいない事態も起こっておりその対応にも代理店に頑張っていたいただかなければいけません。

会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 1.募金方法 : 下記口座への振込
- 2.募金口座 : 十六銀行 島支店 普通預金 NO.1279895
名義:岐阜県代協 東日本大震災義援金口 大江 金男
- 3.振込手数料 : 振込手数料は各自負担でお願いいたします。
- 4.領収証 : 原則発行いたしません。
銀行の振込票控を領収証としてください。

代理店紹介

岐阜支部 有限会社 岐阜保険事務所

<代理店名>
有限会社 岐阜保険事務所

<事務所所在地>
〒502-0932
岐阜市則武中1-25-3
TEL 058-233-8900
FAX 058-233-8902
E-mail kazu_hoken8900@yahoo.co.jp

<代表者名>
所長 道山高明

<スタッフ>
6名 (男 2名 女 4名)



<取扱保険会社>
損保 東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険 計2社
生保 アリコジャパン、アクサ生命保険、東京海上日動あんしん生命保険、
三井住友海上きらめき生命保険、AIG スター生命保険 計5社

他に道山法務行政書士事務所として、様々な法務相談（相続・契約・遺言書作成業務等）も請け負っています。

<略歴>
昭和47年2月18日 有限会社 岐阜保険事務所設立
昭和58年 現所長就任
平成23年2月18日 会社設立40周年
平成23年3月 現在に至る



<事務所の環境>
再開発が進み今注目を集めている則武にあり、交通の便は抜群です。
社会保険制度完備、厚生年金、労災保険、健康診断費用、慰安旅行、昼食費、車購入費、傷害保険料等々、
全て会社の福利厚生。

<経営理念>
社是 - 4つの理念 -
1 愛されること 3 役に立つこと
2 褒められること 4 人に必要とされること

会員投稿記事

「老いた代理店の一言」

地球のいたる所で、災害が起きている。集中豪雨、地震、地震による津波、どう思っても地球温暖化では、警告しているのに、分からないかなーと。



九州で牛の口蹄疫、そんなに農家を苦しめないでと思ったら、新燃岳の噴火、次は鳥インフルエンザで養鶏農家に、どこまで・・・
お客さんに養鶏農家のおばあさん、鶏舎へ行ってニワトリを見るのが怖い、胸がしめつかれると、ふと思った。この世に神様っているの？こんなにもいじめて、人間はすべて無力？対策？指をくわえているだけ？人間はそんなに馬鹿？ではないと・・・

去年は、人「物体」を感じて自動に停止させる車を宣伝していた。
「事故は無くなるの？」

今度は人工衛星とナビを使い、出会いがしらの事故を無くすという、「もうすぐ」これで事故が激減、「自動車保険どれだけ安くしなければ、」2割、3割、4割引き・・・
記憶に新しい、ETCが一気に普及した事を、ふと思い出した。

ここ数年で、電気自動車が普及すると予測、産業界「自動車業界」は？なんせ部品が半分以下で、景気どうなるの？今でも悪いのに、月200円保険料が上がった、「もう他で入る」-この人も必死で生活しているんだなーと、給料上がらず、

ニュージーランドで地震、日本人の方も多数、ガレキの中からまだ生存者の声、何と痛ましいことか、スペースシャトルが成功したとか、喜んでいるより被害になったらすぐ救出する方法を一番に、考えてよ、何が一番にやらねばならないか・・・分かってるの・・・

先日、自動車保険の更改をしている時、小学生の女の子が出てきて、「おじさんから自動車保険はいるからネ！」と うれしい言葉。それまで生きているかな、この子達の未来に幸せが来ますように。我々必至で電子計上やって、このかわいい子供たちの未来の仕事、取ってしまっていないかなーと、ふと、これから益々激動の時代に、

今、カラオケで歌ってる歌 MASH 「夢追いの地図をひろげて」の一節・・・

焦る必要はない、自分のペース生きる ALIVE ...

若い人の歌っていいですネー

以上 老人代理店の戯言でした。 ごめん・・・

(有)吉田保険事務所 吉田 春次

想定外の大災害と保険の役割の再確認

その時名古屋にいた

3月11日午後2時46分、その時、ファブリカコミュニケーション主催セミナーの講師で名古屋錦3丁目のビル8階にいた。大きな揺れが来てそれが長く続く。ゆらゆらゆら〜りという揺れ方でしかも長い。酔ったような気分になる。のちに震度4だとわかったが、東北方面でとてつもなく大きな地震があったと聞く。千葉・松戸の自宅に携帯電話しようにも全くつながらない。その後余震が来る。新幹線は止まってしまい、手配していただきホテル泊まりに。夜半何とか自宅につながり、震度5強で強烈な揺れが続いたが、本が散乱するくらいで済んだという。

深夜テレビの地震報道が刻々と繰り返し流す東北・関東の太平洋沿岸部各地の地震大津波による惨状にくぎ付けになる。夜飲んだアルコールも吹き飛ばしてしまうほど胸を締め付けられるような強烈な悲しみと痛みを伴う光景でそれはあった。

茨城の古い家も

茨城の留守宅が心配だったが、13日午後、隣家の方から損害が出ている旨連絡をいただいたが、交通途絶でどうにもならない。15日ようやく常磐道が水戸インターまで開通したのを待って帰ってみた。

道があちこちで、波打っている。水戸インターから一般道に降りると、そこかしこで給油待ちの長い車列を目撃する。那珂市へ行く道中、あちこちの家々の瓦が落ち、ブルーシートがかかっている。ブロック塀や石塀が崩れている。沿岸部ではないが、那珂市も今回の地震でダメージを受けた。断水も続く。

大正12年の関東大震災では難を逃れた我が家も今度はそうはいかなかった。母屋の棟瓦が崩落した。一部の塀が倒れた。増築部分の便所の屋根瓦がすべて落ちてしまった。地震の力が強かったのか玄関の柱が幾分傾いたのか戸が外れ、内戸のガラスも割れ、一部漆喰も剥落した。石蔵も壁が一部崩れた。灯籠や、裏の林の中の墓石も崩れた。近くの馴染みの建築屋さんに来てもらおうと、「いくら傾いてしまったので部分修理では済まないね、余震も一段落したら古民家再生の専門業者に相談してみても」とのお見立て。「うーん」先々考えなければとは思っていた難題にこんな形で向き合うとは。考え込んでしまった。

「亡き父母はこんな惨状を見ずに済んでよかった」と思うほかない。

プレート型地震が引き起こした巨大災害

今回の東日本・太平洋沖で発生したプレート型巨大地震はマグニチュード9.0(気象庁・13日当初の8.8から修正)、震度7という観測史上最大規模のものだった。(関東大震災はマグニチュード7.9)

震源域は東北から関東までの太平洋沖500キロ、幅200キロに及ぶもの。しかも3つの断層が連続してほぼ同時に発生したもので、その地震エネルギーの凄まじさをまざまざと見せつけた。とりわけ、地震発生後に東北や関東の太平洋沿岸部を相次いで襲った大津波そして一部では津波に伴う火災は、沿岸各地を襲い、壊滅的な打撃をもたらした。町や集落、家屋、自動車などにとどまらず尊い夥しい数の人命を瞬く間に奪い去るほどの自然力の桁外れの恐ろしさを示したのであった。

名称は乱れる

3月11日の地震の呼び名も乱れている。

気象庁は「東北地方太平洋沖地震」と命名したが、マスコミ報道では「東日本巨大地震」-日経、読売、「東日本大震災」朝日、毎日、サンケイ、東京、「東北関東大震災」-NHK等とバラバラで呼ばれてもいるが、今後どのような呼び名が定着していくのだろうか。困ったものである。

1995年(平成7年)1月17日火曜日午前5時46分に発生した都市直下型の「兵庫県南部地震」(気象庁)は、マスコミ等で呼び名は当初ばらばらであったが最終的には「阪神淡路大震災」でその呼称は落ち着いた。

想定外の巨大大津波

東日本沿岸部を襲った巨大大津波は、全くの「想定外」の規模であった。すでに三陸リアス式海岸の各地は過去にも大津波の被害を受け、その経験をもとに三陸沖地震に備えた高い防波堤や避難訓練をしていたのであったが、想定をはるかに超えたものであったことが被害を拡大した。人間が想定する危機管理のレベルとは何かを改めて過酷に突き付ける格好となったのは残念至極である。自然の力の空恐ろしさを改めて再認識せざるを得ない。地震の場合、火災や倒壊リスクが思い浮かぶが、津波の怖さも忘れてはならない。遠くは 1896 年 6 月 15 日の明治三陸地震では、本州で過去最大の 38.2 メートルの大津波により死者約 2 万 2000 人を出したこと、1960 年 5 月 22 日のチリ地震津波が 24 日、三陸はじめ日本各地の沿岸部を襲い死者行方不明 142 名を出したこと、近くは 1993 年 7 月 12 日の北海道南西部地震で地震発生直後に奥尻島で最大約 10 メートルの大津波が死者 202 人を出したことがあったこと。また、海外に目を転ずれば 2004 年 12 月 26 日スマトラ沖地震に伴う大津波でインド洋、アフリカ東海岸まで 12 カ国で 28 万人以上の死者・行方不明者を出したインド洋大津波のことを思い出す。今回の巨大地震がもたらした大津波も最大 10 メートル以上に及んだとも言われる。大津波のリスクがいかに脅威かを改めてわれわれの五感に刻みこませる出来事となった。

罹災者支援、災害復旧へ

今回の地震は、巨大規模のものだっただけに、その後も震度 6 クラスの強い余震が発生しており、新たな津波の再来襲の恐れも捨てきれない。このような余震の中でも、人命救助から、被災者支援、災害復旧への取り組みが官民挙げてなされる。全国からのボランティアや海外各国からの支援活動も始まっている。

被災者に対し、保険業界の迅速な対応が求められているが、すでに各保険会社では、全国規模の動員体制をとりつつある。現地での被災者に対する的確な対応を期待したい。

また、この地震（津波）で被災し過酷なまでにダメージを被った福島第 1 原発を巡るリスク対策、放射能漏れの対応や東電の首都圏を対象にした計画停電問題はその影響の深刻さを日増しに増している。その成り行き如何に重大な関心がもたれている。

地震リスクの特性

ところで、地震リスクは、通常の火災や交通事故等のリスクの発生確率（頻度）と強度（金銭で評価される場合損害額、リスクに晒される対象物の価値と損傷度を乗じたもの）の相関関係とは異なっている。

通常の事故のリスクは、発生確率（頻度）は強度の小さいところで大きく、強度が大きくなると発生確率は低下する関係をとる。例えば労災事故では 300 回の軽微な事故、9 回の中規模事故が 1 回の巨大大事故の背景となっているというハインリッヒの法則が成り立つとされる。

火災や交通事故などの社会的な事象に多くみられるもので、1 回の重大な事故を根絶するためには、頻繁に発生する軽微な事故を防止しなければならない事を示している。

地震リスクはこれと異なり、発生確率は極めて低い、いったん発生するとその強度は極めて強大だという性格のものである。原子力発電のリスクもこれと同様である。このようなリスクはカタストロフィーリスクと言われ、極めて保険引き受けのむずかしいものである。

家計地震保険は、こうした難しいリスクを引き受けるために考え出された公的性質の強い保険の仕組みである。また通常の損害保険と異なり、罹災者の生活支援を趣旨とするものである。

こういう時期にこそ、地震リスクに対する保険の仕組みの一層の理解を得ることは必要である。

保険は希望の光

今回の東北地方や北関東を襲った大震災、大津波の惨状は目を覆うものである。

特に地震津波で沿岸部の街、家屋、尊い人命が奪われてしまった。難を逃れた方々も茫然自失の避難生活を余儀なくされている。救いは全国津々浦々、いや全世界からの救援の動きだろう。

災害、事故時の支払いは保険本来の真価を発揮する時である。

今、保険会社各社は全国動員態勢を敷き、損害調査を開始している。代理店もまた、相談や手続き支援面での顧客対応力が問われる。

家計地震の支払いは阪神大震災をはるかに凌ぐ

家計地震保険の支払いは、過去最大だった神戸淡路大震災（783億円）をはるかに超え数千億規模になると見込まれる。支払総額が最大となるのは、支払件数の大幅増加が予想されるためだ。

1995年の阪神大震災時は約6万5千件だったが、全国平均で当時7%の加入率は2009年度末で23%。被害の大きかった宮城県では32.5%、全体の件数は数十万件の見込み。96年に建物の加入額が1千万円から5千万円に引き上げられ、一件当たりの支払額も増える事は確実だ。（地震保険は政府と損保会社が共同で運営。1150億円までは損保会社が支払い、それ以上は政府と損保会社が50%ずつを負担する仕組み）

また、企業向けの拡張担保の支払い規模もかなりの額になるものと思われる。

傷害保険や自動車保険（車両保険）では地震や津波は免責だが、天災危険担保付特約や地震・津波危険特約を付け支払いの対象となる該当契約がどれほどあるのだろうか。

罹災地は広範に及ぶ

今回の大震災・大津波で壊滅的な損害を被った地区は広範に及ぶ。福島では地震、津波の災害に加え、原発災害問題が発生し退避を強制的に求められた地域もある。あまりに厳しい罹災現場、交通網の途絶、ガソリン不足など障害を乗り越え進めなくてはならない。罹災地では、保険会社の支社や代理店事務所も例外ではない。こうした中での損害調査は難航を極めるだろう。

罹災代理店支援も

一方、事務所や自宅が罹災した代理店も出ている。これにより顧客を守ろうにも難儀している状況に置かれているケースも想定される。また、顧客データ、地震の付保状況を正確にはつかめないケースもあろう。今回のように壊滅的な損害を被った地域において、地域密着型の代理店の置かれた状況は過酷なものがある。多くの対象物件が消滅した場合、保険の解約に伴い未経過分の代理店手数料戻し入れの問題も懸念される。地域の復興にはかなりの時間がかかる。保険業界あげてぜひとも罹災代理店のバックアップ、支援体制も検討してほしいものである。

がんばろう東日本がんばろう保険

このたび東日本を襲った巨大地震や大津波で被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。あまりの惨状に言葉もありません。代理店や保険会社の方で罹災された方もいらっしゃるでしょう。こうした中でも、多くのお客様の支えとなって懸命に尽くされている皆様のことが目に浮かびます。こんな時だからこそ、保険が真価を発揮し、罹災者の生活再建や事業の再興にいくらかでも役立ってほしいものです。災害から立ち直るための希望の光であってほしいと、切に感じています。保険代理店の使命は大きなものがあります。そのことを改めて痛感しています。ともに保険の原点に立ち戻って歩み出すきっかけにしましょう。そして本当にお客様の役に立つ提案を地道に進めましょう。

がんばろう東日本、がんばろう保険！

（保険ジャーナリスト、inswatch 編集人）



なるほど『ぎふ雑学』(24)

松尾 一

継体天皇と淡墨桜

継体天皇は、近江高島で誕生され越前で育ったと伝えられ、祖母は美濃の豪族ムツゲ氏、祖父は北近江の豪族、天皇になる前の妻は尾張氏で、即位にあつてこれら豪族たちの支援があったという。

即位以前は男大迹王(おおとのみこ)といい、応神天皇の五世の孫、彦主人(ひこうし)王の子といわれている。武烈天皇の直系が絶えたため、大伴大連金村らによって擁立、58歳ころ即位され継体天皇となった。しかし、大和には反対勢力があり大和には入れず河内樟葉宮(大阪府枚方市)で即位し20年目に大和に入ることができたという。

継体天皇が都に上がる時、お手植えになったという桜の伝承が各地に残る。

本巣市根尾の「淡墨桜(うすずみさくら)」は、樹齢1400年ほどともいわれているエドヒガンサクラの一種で、岐阜県最大、全国でも有数の巨木である。咲き始めは淡い桃色だが、純白になり、やがて淡い墨色になって散っていくことから「淡墨桜」といわれるようになった。

作家の水上勉や、宇野千代の小説『薄墨の桜』によって全国に紹介され有名になったが、一時は枯れる寸前であった。しかし関係者の献身的な努力によって見事に蘇り、毎年花を咲かせている。

一宮市の真墨田神社伝承では、男大迹王が幼い頃、時の天皇の迫害から逃れるため、それまで住んでいた尾張から根尾にある夫婦によって育てられた。

大伴大連金村の迎えに応じ、一株の桜を植えられ「身の代と残す桜は薄住よ千代にその名を栄盛へ止むる」という和歌を残され根尾を立たれ都に上られたという。

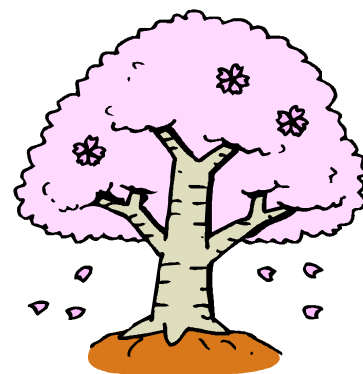
山口市塩後の乳児の森にある「おなみ桜」は、男大迹王が乳のみ子のとき、乳母おなみが、乳の出るようにと乳児の森の湧き水を飲んだところ、乳がよく出るようになり、継体天皇が都に上られるとき、淡墨桜とともに、この桜を植えられたという伝承が残る。

継体天皇お手植え伝承の桜は、福井県越前市にある花筐(はながたみ)公園の「薄墨桜(うすずみさくら)」と、福井県鯖江市上高内の「薄墨桜(うすずみさくら)」がある。

継体天皇ゆかりの神社は、継体天皇の像が建てられている福井市の足羽山の麓にある足羽神社をはじめ、武生市の日野神社、坂井市の高向神社、三国神社、横山神社や、恵那市の笠置神社、岩村八幡神社など各地にある。

男大迹王は、三国港を開き、九頭竜川、日野川、足羽川の治水事業を行ったという。また、越前漆器は、男大迹王に献上したところお喜びになったといい、越前和紙は男大迹王が伝授されたという。

このようにお手植え桜の伝承地や、神社をはじめ継体天皇伝説の地は、継体天皇のいわば出身母体である豪族たちの勢力範囲で、天皇即位以前の男大迹王は美濃、尾張、越前、近江あたりを治めていた首長だったと推定できるのである。



(まつお・いち) ライフワークは地域史(近世交通史)
著書は『やっぱ岐阜は名古屋の植民地!』『北陸街道紀行』等多数

東北関東大震災について

SHINWA グループ

会 長 名 和 盛 男

平素はSHINWAグループにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたびの東北関東大震災で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

地震国の宿命とはいえ、余りの酷さに言葉もありません。復興には相当の覚悟と時間が必要になりそうです。また、余震への備えも怠れません。

今後あらゆる分野への影響も計り知れませんが、あれだけの冠水車を見ても、私共の業界への影響も大変大きいものと思われま

す。シートより上が海水と泥につかった車両は、すぐに処置できなければ基本的に全て全損になりそうです。

私共 SHINWA グループといたしましても、募金はもとより、それ以外にも何が可能か検討してまいりたいと思います。

今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



SHINWAグループ13社の連絡先	TEL	FAX
オートボデーショップ篠田 (大垣以西)	0584-74-7892	0584-74-7833
平野钣金工業 (岐阜市南西部・羽島郡)	058-271-0773	058-271-0784
オートサービスイトウ (岐阜市北西部・瑞穂)	058-327-7167	058-327-2708
名和自動車工業 (岐阜市東部・各務原)	058-245-0261	058-245-0262
和田钣金工業 (岐阜市中西部)	058-251-7065	058-251-7095
AUTOPIT羽島钣金 (羽島市以南・愛知北西部)	058-392-1521	058-392-1520
成田钣金工業所 (多治見市)	0572-22-5456	0572-24-2244
東美自動車 (中津川市)	0573-68-3126	0573-68-3125
リフレッシュセンター渡辺 (瑞浪市)	0572-68-0980	0572-68-0982
カトー自動車工業 (可児市)	0574-62-3207	0574-62-3246
糸貫自動車 (本巣市)	058-323-1251	058-323-0753
米野自動車工業 (下呂市)	0576-25-2549	0576-25-4109
オートリペアカワシマ (岐阜市北部・山県市)	058-232-4185	058-232-4108



被災されました皆様、また関係者の皆様
心よりお見舞い申し上げます。

損害事故復旧サービス

< 今月の復旧事例 >

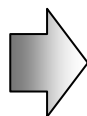
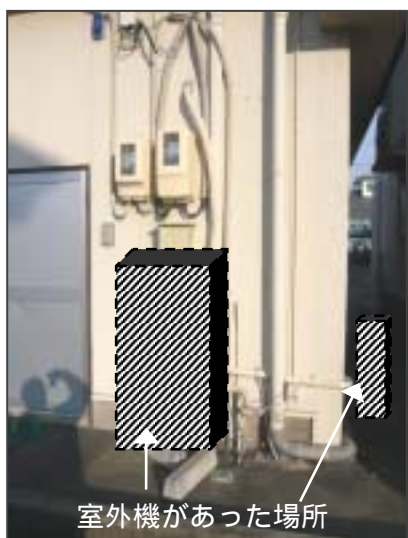
店舗のエアコン室外機2台が盗難にあいました。壁掛け型エアコンは室外機だけの購入ができないので室内機もセットで交換しなければなりません。天井埋め込み型のものは室外機のみ購入し、**再発防止のため屋根に設置**して復旧しました。

< 場所 > 岐阜市野一色

< 費用 > ￥491,400 - (税込)

被害状況

復旧後



建築物復旧は、

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株)イケダ** へ。

☎ 058 - 271 - 6788 (24時間即日対応)

FAX: 058 - 271 - 6787

携帯: 090 - 2775 - 4085

E-mail: joho@homestep.com

緊急告知

先月の積雪で、樋・屋根・カーポート・フェンス等の破損や雨漏れ等ございましたか？ お気軽にご相談下さい。



交通事故による損害復旧工事

No.0092

本巣市下真桑地内

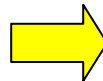
ネットフェンス復旧工事

復旧工事費用

208,887円

作業前

作業完



* 通学路道路に設置したネットフェンスの復旧工事です。
通学路道路でもあり至急復旧工事の指示がありました。

夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。

Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする

24時間・年中無休の安心対応

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

E-MAIL giensouken@vega.ocn.ne.jp

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

日本代協 振興基金の取扱について

日本代協振興基金の取扱について、平成23年2月17日の日本代協理事会において、下記内容にて承認され、平成23年度より満期を待たずに全額償還することになりました。

日本代協平成23年度（第48期）事業計画 より

「日本損害保険代理業振興基金」については、全国代協会員の協力の下で一定の役割を果たしたと考えられるが、一方において、現状では以下のような背景もあるため、区切りを付ける時期であると判断し、本年度から満期を待たずに順次全額償還を行うこととする。

低金利が続く運用環境の中で、今後大幅な改善を見込むことはできず、本制度創設当初の意義を確保することは難しいと判断されること

経費処理が複雑で管理ロードが大きいこと（社団法人としての会計処理にそぐわないこと）

各代協によって取組に濃淡があるままになっており、全国施策として維持することが難しいこと

なお、償還にあたっては、事務局ロードの観点から、償還期日該当月単位に順次手続を進めることとする。

償還の回答書は、預託者より代協事務局を経由せず、直接 日本代協宛返送していただきます。尚、お問い合わせについては、日本代協事務局へ預託者の皆様より直接ご照会いただくようご案内申し上げます。

広報委員長 川島邦夫

事務局より

総会日程のお知らせ	日本代協	平成23年	6月15日(水)	10:00~	損保会館
	県代協	平成23年	5月11日(水)	13:30~	長良川スポーツプラザ
	岐阜支部	平成23年	4月20日(水)	14:00~	長良川スポーツプラザ
	西濃支部	平成23年	4月13日(水)	15:00~	スイトピアセンター
	中濃支部	平成23年	4月13日(水)	10:00~	シティホテル美濃加茂
	東濃支部	平成23年	4月14日(木)	11:00~	みわや
	飛騨支部	平成23年	4月1日(金)	18:00~	ひだホテルプラザ

上記総会を都合上、欠席される会員の方は必ず委任状をご出状くださいますようお願いいたします。

会費振替のお知らせ

平成23年4月22日(金)に平成23年度 第 期の会費を、口座より振り替えさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

編集後記

東日本大震災で被災されました方々に心よりお見舞い申し上げますと共に一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。軽々しく「未曾有の」という言葉を使うことはできません。自分の身内が阪神大震災のとき大阪に居ましたが余震は一週間続いたそうです。今回はそれ以上であろうことは容易に予測できます。

阪神大震災は1月17日、能登沖地震が3月30日、今回は3月11日、なぜ冬にばかり大地震が起きるのでしょうか？天の所業が恨めしい限りです。被害の全容が徐々に分かってくるに従い、自分の無力さを痛感していますが、今自分に出きることを精一杯し、静かに見守るという選択肢もあることを阪神大震災で学習しました。（後益）

発行日 / 平成23年 3月25日

責任者 / 大江 金男 発行 / 広報機関誌委員会

〒502-0912 岐阜市西島町8-10 Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051

E-mail: gfdaiikyo@opal.ocn.ne.jp <http://www.hokendaikyo-gifu.org/>

【編集室メンバー】笠城 茂、川島邦夫、北村篤俊、大野 広、後藤益充、野村幸弘、伊藤智之、成原大介、大江金男、小西恭弘、森 信彦